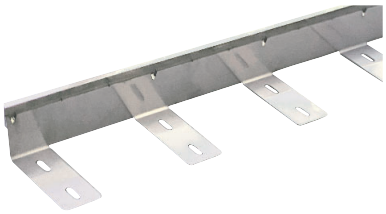
快適をかたちに
KANESO

地先境界用　舗装用見切材
施工要領書

対象製品

ステンレス製　タイル舗装用見切材



製品符号：IS-K-35R

この度は、カネソウ製品をご使用いただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この「施工要領書」をご一読いただきますようお願いいたします。
ご不明な点やお気付きの点がございましたら、下記までご連絡ください。

カネソウ株式会社　〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
TEL（059）377-3232　FAX（059）377-3905

東京支店　TEL（03）3433-6645
大阪営業所　TEL（06）7639-5870
仙台営業所　TEL（022）214-8088
福岡営業所　TEL（092）432-2532

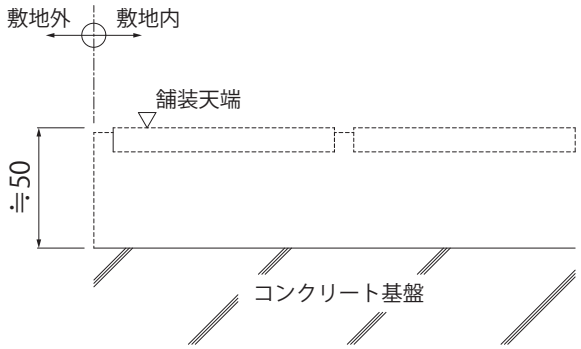
URL：https://www.kaneso.co.jp/　E-mail：info@kaneso.co.jp

この内容は2026年9月現在のものです。仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

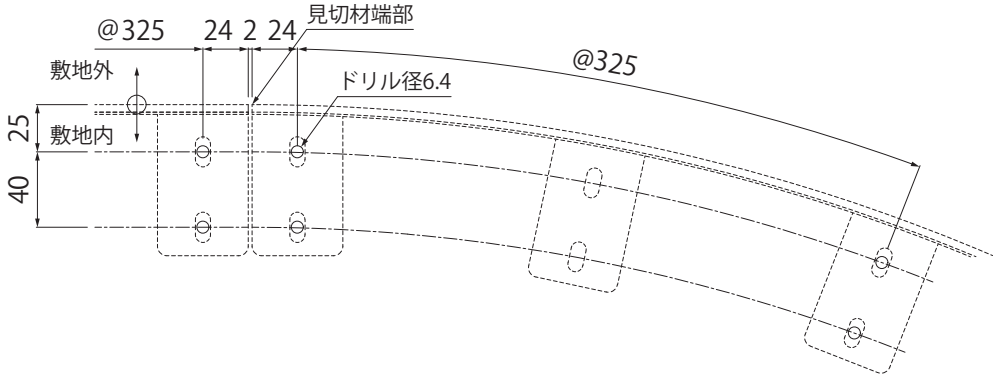
416-1K

施工手順

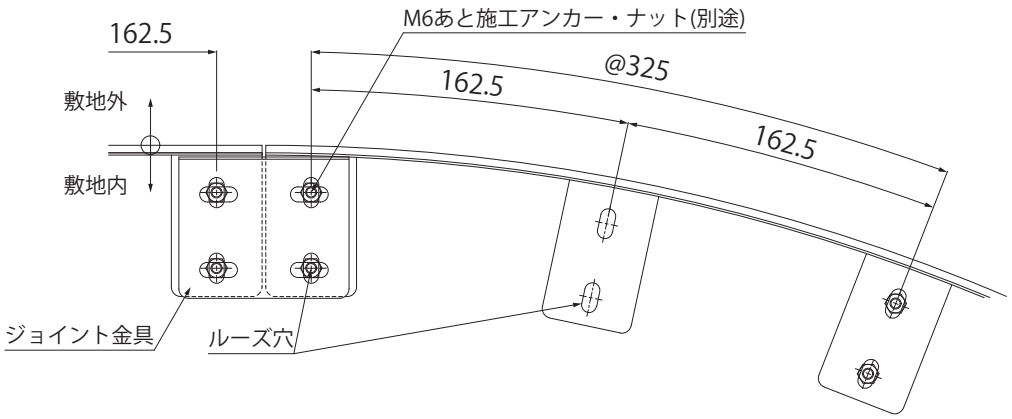
1 タイル舗装等のコンクリート基盤を打設する際、見切材設置部分のコンクリート基盤は舗装天端から50mm程度下げて仕上げます。



2 コンクリート基盤の硬化後、本製品を設置箇所に仮置きし、あと施工アンカーの打込み位置をしるした後、ハンマードリルなどでφ6.4、深さ約20mmの穴をあけます。見切材の突合せ部は1本につき2mmの伸縮余裕をとります。



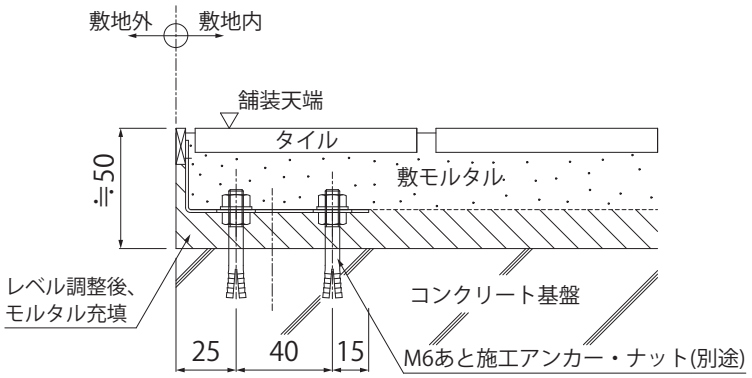
※あと施工アンカーは端部を除き、@325で施工してください。



3 あと施工アンカーを打込みます（あと施工アンカーは芯棒打込み式おねじタイプ、M6×45mm・ねじ部長さ15mm推奨）。あと施工アンカー・ナットは標準で見切材1本当り14組使用します。R形状により使用本数は調整してください。

施工手順

4 アンカーねじ部へナットを取り付け、その上に見切材を、ルーズ穴を介して載せます。ナットをまわして見切材のレベル調整を行います。
連結部には、付属のジョイント金具をご使用ください。

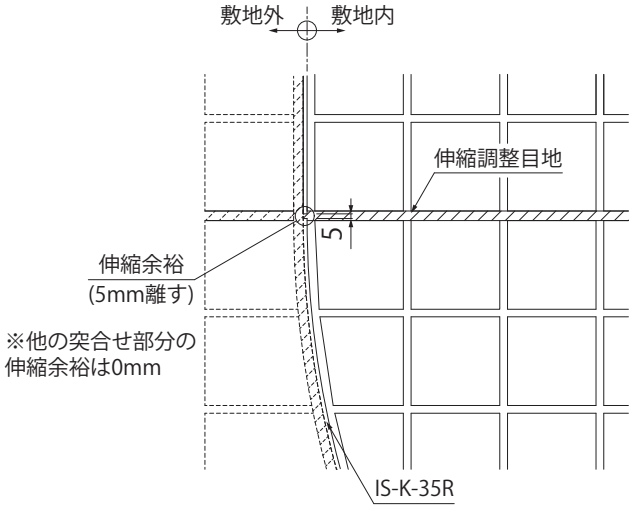


5 レベル調整が済みましたら、見切材の上側をさらにナットで固定します。

6 見切材の下にモルタルを充填します。
フラットバーの下は特に念入りに充填してください。

施工上の注意

・見切材が伸縮調整目地と直交する場合、交わる箇所は5mmの伸縮余裕を設けます。
（伸縮調整目地が5m間隔の時、伸縮余裕を5mmとします。）



・アスファルトなど施工時に高温となる舗装材は見切材に接触させないでください。
タイル舗装や自然石舗装側のひび割れの原因となります。